



【学校教育目標】人との関わりの中で 真の逞しさを身につけた 児童生徒の育成

泉だより

No.10

令和4年12月23日

京都市立東山泉小中学校

校長 岩田智典



4年ゆめづくり「わたしたちのくらしと防災」

4年生は「ゆめづくり」(総合的な学習の時間)の学習で、社会科「自然災害から人々を守る」で学んだことを生かして、「防災」について調べたことを、学年の友達に発表しました。いつ起こるかわからない自然災害…台風や地震、ゲリラ豪雨など身近なものから火山や津波など京都市ではあまりなじみのない災害まで、それぞれが気になった自然災害について調べ、「公助(行政や公的機関による支援)・共助(近所や地域で助け合うこと)・自助(自分で自分の身を守ること)」をもとにパワーポイントにまとめました。発表の後の子どもたちの感想です。



- いろんな災害があるんだなと思いました。(災害は)全部怖かったけど、避難方法など、いっぱい知れたから、災害が起きたときにはそれ(避難)をしたり、家族や友達に教えてあげたいです。
- まず自分で身を守ることが大切で、その次に政府や地域が取り組んでいるサービスなどに頼り、自分たちで身を守ることが大切だということがわかりました。また、防災バッグなどを備えておくと良いということが、この学習でわかりました。

この学習を通して、自然災害に対する知識を得ることはもちろん、自分のことだけではなく地域での助け合いの大切さ、行政の働きにまで目を向けて学ぶことができました。これから的生活に生かしていくってほしいと思います。

地域の皆様へ

今年度、「芸術の泉」が11月19日(土)に開催されました。以前に比べると縮小した形でしたが、京都国際中学高等学校から「韓国伝統舞踊」、大谷中学高等学校から「吹奏楽部」、京都女子中学校・高等学校から「コーラス部合唱」、東山泉小中学校から「金管バンド・吹奏楽部」の発表が行われました。来場者は地域の方も含め、100名近い方に鑑賞していただきました。開催にご協力してくださった方々、ありがとうございました。また、11月26日(土)には「東山ふれあいハーフリレーマラソン」が東山泉小中学校西学舎グランドで行われました。開晴小中学校、東山泉小中学校の児童生徒、東山警察署、東山消防署の方々といっしょに、約20キロメートルのハーフマラソンを走りました。この時期としては暖かな天候にも恵まれ、参加されたみなさんも心地よく走っておられました。

冬休みは地域や家庭に子どもたちをお返しする期間になります。いつも見守り等で子どもたちの安心安全に配慮していただき、感謝しております。来年も引き続き、東山泉の子どもたちを地域で育んでいただきますよう、ご支援、ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。



冬季休業について 12月24日(土)から冬季休業に入ります。12月27日(火)から1月3日(火)の間は学校閉鎖期間となります。来客対応や電話対応も控えさせていただきます。ご理解の程、よろしくお願ひいたします。放課後学び教室、登校時の見守りなど、来年もお世話になりますが、何卒よろしくお願ひいたします。3学期始業式は、1月5日(木)になります。みなさま、よいお年をお迎えください。